

令和8年2月27日
国土交通省関東地方整備局
横浜国道事務所

第7回 神奈川県渋滞ボトルネック検討ワーキンググループを開催 ～県内の交通・渋滞状況について関係機関での意見交換を行いました～

東西方向を結ぶネットワークの交通量が多い神奈川県内の交通渋滞について、平成28年2月4日に「神奈川県渋滞ボトルネック検討ワーキンググループ」を設立し、対策検討を進めています。

このたび、下記のとおり第7回ワーキンググループを開催しましたのでお知らせします。

■第7回 神奈川県渋滞ボトルネック検討ワーキンググループ

開催日時 : 令和8年2月26日(木)

開催方法 : 書面開催形式

議 事 : (1) 神奈川県内の交通状況について
(2) 神奈川県内の渋滞対策の状況について

・資料については、後日、横浜国道事務所ホームページに掲載する予定です。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、神奈川県政記者クラブ
横浜ラジオ・テレビ記者会

<問い合わせ先>

関東地方整備局 横浜国道事務所

電話 045-287-3001 メールアドレス: ktr-yokohama-chousa1@mlit.go.jp

副所長(改築) 山口 (内線 204)

調査課 課長 山田 (内線 461)

第7回神奈川県渋滞ボトルネック検討WG
開催結果概要

1. 日時 令和8年2月26日（木）

2. 場所 書面開催形式

3. 議事

（1）審議

- 1) 神奈川県内の交通状況について
- 2) 神奈川県内の渋滞対策の状況について

<議事の詳細>

■東名高速道路の渋滞対策（NEXCO 中日本）の進捗状況について

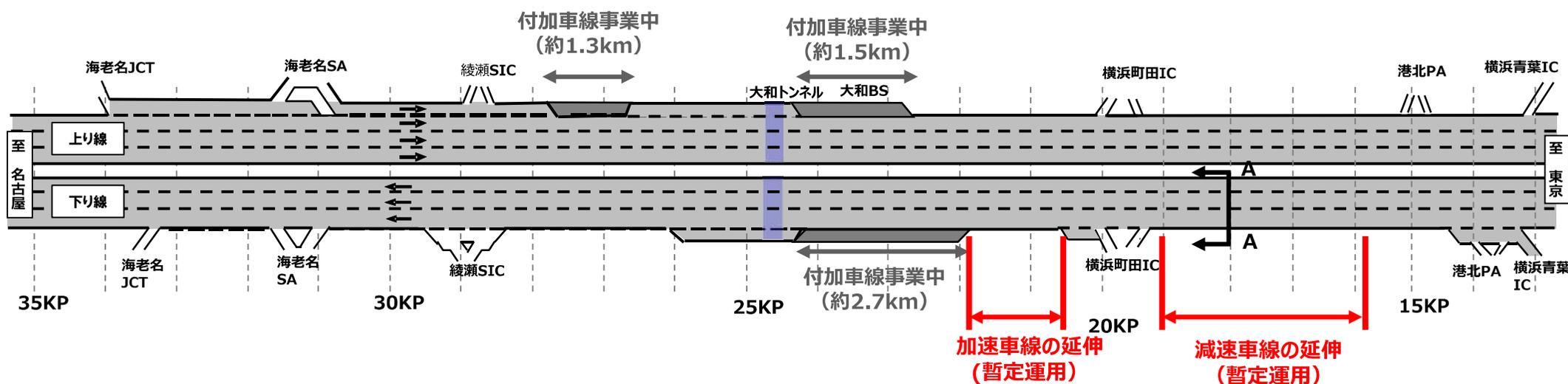
- 大和トンネル付近において、付加車線の設置工事を実施していることを確認した。
- 綾瀬スマート IC 付近において、付加車線工事の発注手続きを実施していることを確認した。
- 付加車線の運用を開始している区間の交通状況を確認するとともに、横浜町田 IC 付近において、追加で必要な渋滞対策について確認した。

以上

東名高速道路 渋滞対策（案）

○大和TN付近～横浜町田IC付近（下り）で発生している断続的な速度低下への対応として、既存幅員を活用し、横浜町田ICの加速車線および減速車線の更なる延伸が必要。

○2027国際園芸博覧会の開催に伴い、会場最寄りICである横浜町田IC周辺の交通量が増加するため、混雑緩和の対策が必要。本渋滞対策は、来場者の会場への円滑なアクセスに寄与。



現況断面【A-A】



延伸後の断面（加速車線、減速車線）【A-A】

